



本年度の経営方針

桂川小学校 校長 大庭公正

学校教育目標

「耐力をもち、豊かな社会力を身に付けた自立した子どもの育成」

経営方針《共働と徹底》

○学校経営（共働）

私たち桂川小職員は、子どもたちの能力を伸ばすために、心血を注いで、教育に邁進します。

①専門職としての使命感に基づく教育活動を推進します。

②組織の一員としての自覚に基づく教育活動を推進します。

③組織マネジメントを活かした教育活動を推進します。

○教育指導（徹底）

子どもたちには、桂川町の将来を担えるための知・徳・体のバランスのとれた力を身に付けさせていきます。

①学力・体力向上に向けた教育活動を推進します。

②粘り強さを育成させるための全校・学年活動を推進します。

③基本的な生活習慣づくりに向けた教育活動を推進します。

○指標として

①C R T標準学力検査（国語・算数）で全国平均を上回ります。

②体力・運動能力テストにおいて、県平均点を上回ります。

今年一年間、各学校は

こんなことを中心に頑張ります！

自立した子どもの育成

桂川東小学校 校長 西園浩一

本校のこれまでの伝統の上に、さらにすばらしい学校にしていくことができるように教職員一同、全力を尽くします。

本年度の方針は、次の3点です。

◎他とのかかわりを位置付けた教育活動（学級で、異学年で）

◎自己目標設定と達成体験

◎授業の充実

特に重点的に取り組む内容は、次のとおりです。

○しつかりと学び子どもの育成

学習規律を整え、授業に取り組ませます。また、朝の読書や15分間学習の時間を確保し、短時間の徹底反復学習を仕組むことにより、集中力を高めます。

○企画・準備力を鍛え、達成感、充実感を持たせる教育活動

縦割り活動を実施するとともに、係活動・クラブ活動・委員会活動等では、子どもたちの自主的、主体的な活動を支援します。



選ばれる学校へ

桂川中学校 校長 安永保之

平成27年度から、日新館中学校が小中一貫校へ。県立嘉穂高校も中高一貫校へと変わりますので、生徒・保護者にとっては学校選択の幅が少し広がります。

桂川中学校も2年前から選ばれる学校づくりのため、教育目標を「人格の完成を追求し、志を持ち、起業に努力する生徒の育成」を掲げ、取り組みを進めてきました。

1月に行われました「国語・数学の基礎基本を含む活用診断テスト」では、一年生から三年生まで福岡県平均点を超えることができました。また、体力面も、あと少しで県平均を超えるところまでできています。

本年度は、町指定研究発表を9月30日に「人権教育の系統的指導プログラムづくり」を内容に授業発表を予定しています。また、福岡県学校給食研究指定委嘱事業も2カ年の授業研究を取組んでいきます。発表は27年度を予定していますが、これらの研究発表を活用し、多くの方に指導と助言をいただきながら、本校の取組みを整理し、どこまで生徒の生きる力を伸ばすことができるか努力を重ねて行く所存です。



「花や野菜の栽培活動」と「運動遊び」の取り組み

桂川幼稚園 園長 長野陽一

本園では、本年度は、3歳児から5歳児までの異年齢児の縦割り班を編成し、「花や野菜の栽培活動」「運動遊び」を中心に、園行事の中で縦割り班で共同して活動できる場をつくります。この縦割り班の活動を通して、年長児には、年下の子の世話をしようとする姿を大切に、年下の子へのかわりや、自分が頼られる喜びを味わわせていきます。また、年少・年中児は、年長児の姿を見て、自分もやってみようというあこがれをいだかせていきたいと思っています。

花や野菜の栽培活動では、今年も一年を通じてたくさん花や野菜を栽培します。種蒔きから苗の植え付け、収穫までの世話は、できるだけ子どもたちに自分の手で体験させます。自然に対する興味、関心を高め、収穫の喜びをみんなで味わいたいと思います。

運動遊びでは、体操、かけっこを中心に、全員で朝の運動をします。また、鉄棒の逆上がり、跳び箱5段、竹馬に重点をおいて取り組みます。年齢に応じて運動遊びを充実させ、友達と色々な遊びや運動を楽しみ、友達とのつながりを深めていく中で、卒園までには、全員が「やればできる」という自信と仲間意識を育てていきたいと思っています。